

地域猫活動の 現状と課題は

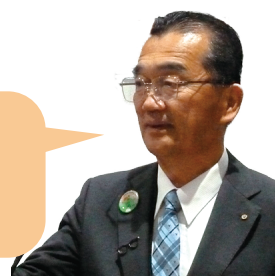


録画配信

答 弁 「人と動物が共生する社会」を
(町長) 目指して地域猫活動を推進する

やすかわ よしゆき
安川 禎幸 議員

こども・子育て支援策 の充実により少子化 トレンドに歯止めを

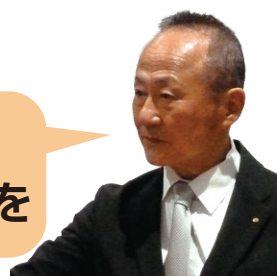


録画配信

答 弁 これからも
(町長) 選ばれる町を目指す

ひらの たつひこ
平野 龍彦 議員

宇美町に こどもたちの居場所を



録画配信

答 弁 こどもたちの声に
(町長) 耳を傾け、取り組む

たかはし のぶあき
高橋 紳章 議員

問 地域猫の団体数・個体数及び不妊去勢手術の件数は。

◆「TNRM」活動とは◆
捕獲器を使用した一時保護
[Trap]
不妊・去勢手術を行い、目印
として耳先をカットする
[Return]
手術後の猫を元の場所に戻す
[Maneement]
餌やり、トイレの管理など

問 地域猫活動の内容は。
答 環境課長
地域猫活動は、地域住民が協力
して行う猫と人間が共存するた
めの取組。飼いがいない猫との共
生が課題となるが、その解決策と
なるのが「TNRM」活動。

子育て支援に取り組んでいる。
問 昨年10月に新宮町では、第
2子(0から2歳児)の保育料無
償化を発表したが、本町の考え
は。
答 こどもみらい課長
保育料無償化は、待機児童の
問題や町の財政面に課題がある。
本町は、待機児童ゼロの施策

問 本町の人口は3万7000
人を割り込んだが、人口減小の
要因とその対策は。
答 住民課長
数年来、社会増減(転入・転出)
はプラス維持だが、自然増減(出
生・死亡)がマイナス。その結果、
人口が減少傾向である。
対策としては、子ども医療費
の助成を昨年4月から拡充し、

令和6年11月 宇美町教育の日
こども会議
議 題
「宇美町のすべてのこどもが
笑顔になれる場所」
こどもたちの提案
「既存の施設を利用し、地域の方々
との交流ができ、楽しく、気軽に、
誰でも学び・集える場所が欲しい」

問 こども会議の提案を受けて、
新たにこどもたちの居場所を設
ける計画は。
答 こどもみらい課長
地域のこどもの生活支援強化
事業で中高生が気軽に相談でき
る体制を整備し、保護者や関係
機関との連携を図り、必要に応

問 地域猫の治療費、埋葬料の
助成がでないか。

問 地域猫団体のネットワーク
構築が必要では。
答 環境課長
地域猫団体間のネットワーク
構築ができれば、お互いに活動
報告や情報交換を行うことでよ
り効果的な活動ができる。活動
団体の意向などを聞き取りなが
ら進める。

答 環境課長
地域猫活動団体は現在21団体
が登録されており、管理されて
いる地域猫は全体で125頭。
不妊去勢手術件数は平成26年
度から令和7年1月までで63
3頭。

や心身の安定などを目的に家
事・育児をサポートしてくれる
もので、家事支援の利用は可能
である。
期間延長は、他自治体の状況
を踏まえ柔軟に対応していき
たい。
問 本町の中心市街地に、誰も
がいつでも自由に遊べる町の顔

を最優先に進めているため、無
償化については、国の動向や他
自治体に注視し判断していき
たいと考える。
問 妊産婦応援事業「うみパッ
ク」に産後ドゥーラを追加し、
利用期間の延長をすべきでは。
答 こどもみらい課長
産後ドゥーラは、母体の回復

問 こどもたちの居場所づくり
を推進していく必要があると考
えるが、構想やそれに伴う課題
などの見解は。
答 こどもみらい課長
「地域こどもの生活支援強化
事業」や宇美中学校で開設して
いる「エンジョイうみ」での利
用状況と成果、課題を検証して、
今後の継続性に向けて居場所の
数を増やしていきたい。
※エンジョイうみ…こども会議で
の提案により実現した町内の小・
中・高生の学習や語らいの場

じて物資の提供や食事の支援も
計画している。
問 既存の施設を活用し、居場
所を増やす考えは。
答 こどもみらい課長
「地域こどもの生活支援強化
事業」や宇美中学校で開設して
いる「エンジョイうみ」での利
用状況と成果、課題を検証して、
今後の継続性に向けて居場所の
数を増やしていきたい。

問 豊かな自然環境と調和した
心地よい暮らしをうみだす町の
将来像は。

答 町長
本町では県ワンヘルス計画の
指針「人と動物が共生する社会」
を目指して地域猫の「TNRM」
活動を推進している。
地域猫活動をはじめ人間と動
物の命や健康、環境の健全性な
どの課題を解決し、よりよい社
会を築いていくことが肝要であ
る。

答 環境課長
治療費は町の「地域猫活動支
援事業補助金」の対象経費とし
て補助ができる。埋葬料の補助
金は交付できないが引き取りは
可能。

問 少子化対策として、国のこ
ども大綱は社会全体で子育てを
応援し、こどもまんなか社会の
実現を求めているが、町長の考
えは。
答 町長
これまで力強くこどもまんな
か宣言となるよう子育て支援
に取り組んできた。これからも
「子育てするなら宇美町で」を

となるランドマーク的な公園づ
くりを計画すべきでは。
答 都市整備課長
令和7年度に町内の公園整備
の基本となる計画を立てること
を検討している。インクルーシ
ブ遊具を備えたランドマーク的
な公園となるような計画として
いきたい。

問 こども会議でこどもたちが
ら「こどもの居場所」が欲しい
との意見が多く挙がったことへ
の町長の考えは。
答 町長
既存施設での居場所を増やす
ために、例えば、中央公民館で
の学習室をうみハピネスでも行
うなど具体的な検討を行うこと
も、こどもたちの意見に耳を
傾け、政策に反映していく。

答 こどもみらい課長
今後の構想は、これらの事業
を通じて、こどもたちが安心し
て学べる、集う、語らえる居場所
そこに地域の方々が関わってい
ただける居場所の提供ができる
ような施設を考える。

質問を終えて
豊かな自然環境と調和した
『心地よい暮らし』をうみだ
すまちの実現に向け、地域猫
活動がより一層活発化するこ
とを期待したい。



原田下自治会「猫カフェ」
毎週水曜日営業中！

合言葉に、選ばれる町を目指し
て職員と一緒に政策を進めてい
く。
質問を終えて
国のこども大綱に基づき、
さらに「こどもまんなか社会」
の実現を目指す、少子化トレ
ンドにストップを。



親子連れなど誰もが気軽に
立ち寄れる憩いの場を！



篠栗町の児童館。こんなすばらしい
場所が本町にも欲しい